

- 問1 アメリカ合衆国の人口構成において、メキシコやカリブ海諸国などの中南米にあるスペイン語圏の国々から移住してきた人々と、その子孫を指す名称として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. ヒスパニック 2. アボリジニ 3. インディアン 4. アングロサクソン
- 問2 北アメリカでは、アメリカ合衆国・カナダ・メキシコの3か国が経済的な結びつきを強めるため、関税を原則として撤廃する経済協定を結んでいます。この協定により、アメリカの多くの企業が安価な労働力を求めて隣国のメキシコへ工場を移転させるなどの動きが活発になりました。このように、特定の国や地域の間で貿易を活発化させるために結ばれる合意を何と呼びますか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
1. 自由貿易協定 (FTA) 2. 垂直分業体制 3. 4. 世界貿易機関 (WTO)
アジア太平洋経済協力会議 (APEC)
- 問3 都市の土地利用において、郊外に見られる一般的な特徴を説明したものとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 利便性が最も高いため、官公庁や企業の中心的なオフィスが狭い範囲に集中している 2. 地価が比較的に安いため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい 3. 土地の価格が極めて高いため、高層ビルや地下街を建設して土地を高度に利用している 4. 人口密度が非常に高く、限られた土地を有効に使うために住宅が密集して建てられている
- 問4 アメリカ合衆国の産業の変化と地域的特色について述べた文のうち、サンフランシスコ周辺に位置する「シリコンバレー」の説明として最も適切なものを選択してください。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
1. 広大な土地を利用した企業的農業が盛んであり、バイオテクノロジーを用いた穀物の品種改良が行われている。 2. コンピュータや半導体に関連する企業や研究機関が集中しており、世界の先端技術産業をリードしている。 3. 五大湖周辺に位置し、かつては鉄鋼業や自動車産業で栄えたが、現在は施設の老朽化が課題となっている。 4. 北緯37度以南の温暖な地域に位置し、安価な労働力を背景に航空宇宙産業や石油化学工業が発展している。
- 問5 2000年時点では日本やイギリスと比較して、発電電力量に占める石炭の割合が最も高かったアメリカ合衆国において、近年、環境への配慮や経済性の観点から石炭の割合が低下し、天然ガスの割合が急増しています。この背景にある、2000年代後半からアメリカ合衆国で本格化した、新しい資源の採掘技術によるエネルギー供給の変化を何と呼びますか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 産業革命 2. シェールガス革命 3. 緑の革命 4. 情報技術 (IT) 革命
- 問6 北米と欧州の主要国の貿易について述べた次の文のうち、輸出総額が約5000億ドルであり、品目別割合において「原油」が16.3パーセントと最も高い比率を占めている国として正しいものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 北米自由貿易協定 (USMCA) を通じて、自動車部品の輸出を急増させているメキシコ 2. EU内での貿易が活発で、高級ブランドの化粧品や医薬品などの化学工業製品に強みを持つフランス 3. 世界最大の経済規模を誇り、航空機などの高度な機械類の輸出が中心であるアメリカ 4. 広大な国土に豊富なエネルギー資源を持ち、アメリカへのパイプライン輸送も盛んなカナダ
- 問7 ヨーロッパの主要な農業国の一つで、穀物自給率が100%を超えており、小麦のほか、ワインの原料となるぶどうの生産が世界的に盛んである国として正しいものはどれですか。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. フランス 2. イギリス 3. ドイツ 4. イタリア
- 問8 アメリカ合衆国における産業構造の変化について述べた次の文のうち、カリフォルニア州のシリコンバレーの説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
1. 北緯37度以南の温暖な地域に属し、1970年代以降に安価な労働力を求めて工場が進出した工業地帯。 2. 五大湖周辺に位置し、鉄鉱石や石炭の資源を背景に、自動車工業などの伝統的な重工業が発達した地域。 3. 大西洋岸の中枢機能を担う都市であり、金融や情報、出版といった経済活動の拠点となっている地域。 4. スタンフォード大学などの研究機関と連携し、高度な専門知識を持つ人材が集まることで先端技術産業が発展した地域。
- 問9 アメリカ合衆国の農業地域を説明した資料において、西経100度付近を境として広がる「グレートプレーンズ」や、その東側の「プレーリー」に隣接し、これら広大な平原の西端を区切っている標高の高い山脈の名称として適切なものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. ピレネー山脈 2. アパラチア山脈 3. ロッキー山脈 4. アンデス山脈
- 問10 アメリカ合衆国の北緯37度以南に位置する「サンベルト」と呼ばれる地域について、この地域で先端技術産業が急速に発展した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 冷涼な気候が精密機械の製造に適しており、古くからの研究機関が集まっていたため 2. 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が確保しやすかったため 3. 五大湖周辺の豊富な鉄鉱石と石炭を利用した鉄鋼業が発展したため 4. 大西洋に近い地理的条件を活かし、ヨーロッパ諸国との貿易の中継地となったため
- 問11 アメリカ合衆国において、シリコンバレーが含まれる北緯37度以南の温暖な地域では、1970年代以降に新しい産業が急速に発展しました。この地域全体の名称と、シリコンバレーが中心的な役割を果たしている産業の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 太平洋ベルト — 自動車工業 2. スノーベルト — 重化学工業 3. サンベルト — 先端技術産業 4. ラストベルト — 繊維工業
- 問12 アメリカ合衆国では、広大な国土の自然条件を最大限に活用し、それぞれの地域の気候や土壌に最も適した農産物を大規模に生産する農業の仕組みがとられています。このような、自然環境に合わせて特定の作物を栽培・飼育する方法を何といいますか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 自給的農業 2. 近郊農業 3. 適地適作 4. 二毛作
- 問13 アメリカ合衆国における温室効果ガスの排出状況について、国民1人あたりの排出量が他の国々と比較して特に高い水準にある背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 再生可能エネルギーの導入を一切行わず、すべての電力を石炭火力発電に頼っているから 2. 人口密度が世界で最も高く、狭い土地に多くの工場や住宅が密集しているから 3. 熱帯雨林の焼失による二酸化炭素の放出が、国内の排出量の半分以上を占めているから 4. 広大な国土を持ち、移動における自動車への依存度が高いほか、家庭でのエネルギー消費量も多いから
- 問14 アメリカ合衆国の西海岸、カリフォルニア州のサンフランシスコ郊外に位置し、スタンフォード大学などの研究機関と連携しながらIC (半導体) やソフトウェア開発などの企業が数多く集まっている地域を何と呼びますか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
1. デトロイト 2. ピッツバーグ 3. シリコンバレー 4. サンベルト

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヒスパニック	アメリカ合衆国では、地理的に近いメキシコや中南米のスペイン語圏から仕事を求めて移住する人々が増加しており、これらの人々は「ヒスパニック」と呼ばれます。アングロサクソンは主にイギリス系の白人を指し、インディアンは北アメリカの先住民族を指します。
問2	答え 1 自由貿易協定（FTA）	特定の国や地域の間で、関税や輸出入の制限を撤廃または削減し、自由な貿易を促進することを目的とした経済的な合意です。北米ではメキシコの低賃金や広大な市場を活かすためにこの仕組みが利用され、先進国の資本がメキシコへ流入し、工場移転が進む要因となりました。
問3	答え 2 地価が比較的安い ため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい	都市の構造において、中心部から離れるほど地価は下がる傾向にあります。そのため郊外では、都心では確保が難しい広い敷地を利用できるようになります。具体的には、大型ショッピングセンター、大規模な工場、ゆとりある敷地を持つ住宅地などが立地しやすくなるのが、郊外の土地利用の大きな特徴です。
問4	答え 2 コンピュータや半導体に関連する企業や研究機関が集中しており、世界の先端技術産業をリードしている。	シリコンバレーは、従来の重工業中心の産業構造から、知識集約型の先端技術産業（ICT産業）への転換を象徴する地域です。選択肢にある「北緯37度以南」の説明はサンベルト全体の特徴を指しており、五大湖周辺の説明はラストベルト（古くなった工業地帯）を指しています。シリコンバレーはサンベルトの一部に含まれることもありますが、特にICT産業の集積地としての個別の特徴を捉えることが重要です。
問5	答え 2 シェールガス革命	アメリカ合衆国では、従来のガス田とは異なる「頁岩（けつがん）」という地層から天然ガスを抽出する技術が確立されました。これにより安価な天然ガスの増産が可能になったため、二酸化炭素の排出量が多い石炭火力発電から、比較的クリーンな天然ガス火力発電への代替が急速に進みました。このエネルギー構造の劇的な変化をシェールガス革命と呼びます。
問6	答え 4 広大な国土に豊富なエネルギー資源を持ち、アメリカへのパイプライン輸送も盛んなカナダ	カナダは世界有数の資源大国であり、特にアルバータ州などで採掘される原油は主要な輸出項目となっています。輸出総額が約5000億ドルという規模や、工業製品だけでなくエネルギー資源が統計の上位に現れる点は、カナダの経済構造を象徴しています。
問7	答え 1 フランス	フランスはヨーロッパ最大の農業国であり、広大な平原と温暖な気候を活かした混合農業や地中海式農業が行われています。EU（欧州連合）内でも特に高い農業生産力を持ち、小麦の自給率が100%を超えているほか、世界有数のぶどうの産地としても知られています。
問8	答え 4 スタンフォード大学などの研究機関と連携し、高度な専門知識を持つ人材が集まることで先端技術産業が発展した地域。	シリコンバレーの発展には、大学の研究成果をビジネスに結びつける産学連携や、新しい事業に投資するベンチャーキャピタルの存在が大きく関わっています。五大湖周辺のデトロイトなどが自動車工業で衰退を見せた「ラストベルト（さびついた地帯）」と呼ばれたのに対し、先端技術によって経済成長を牽引しました。
問9	答え 3 ロッキー山脈	アメリカ合衆国の西部に位置するロッキー山脈は、大陸の気候や地形に大きな影響を与えています。この山脈の東側には、西経100度付近を境に広がる大平原（グレートプレーンズ）や、さらにその東側に位置する草原地帯（プレーリー）があり、これらはアメリカの重要な農業地帯となっています。アパラチア山脈は大陸の東側に位置するなだらかな山脈であり、位置関係が異なります。
問10	答え 2 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が確保しやすかったため	サンベルトが発展した主な要因は、冬でも過ごしやすい温暖な気候であること、工場を建てるための広大な土地が確保しやすかったこと、そして比較的安価な労働力が得られたことです。こうした好条件を求めて、かつての工業の中心地であった北東部から多くの企業や人々が移住し、ハイテク産業の成長を支えました。
問11	答え 3 サンベルト — 先端技術産業	北緯37度以南の温暖な地域は「サンベルト」と呼ばれ、かつての工業の中心地だった北東部（スノーベルト）に代わって成長しました。シリコンバレーはその中でも、コンピュータや通信、航空宇宙といった知識集約型の先端技術産業を象徴する地域となっています。
問12	答え 3 適地適作	アメリカ合衆国では、各地域の気候、地形、土壌などの自然条件を分析し、その土地で最も効率よく収益が得られる農産物を集中的に生産しています。この仕組みを「適地適作」と呼び、広大な土地と機械化を組み合わせることで、世界有数の農業生産量を実現しています。
問13	答え 4 広大な国土を持ち、移動における自動車への依存度が高いほか、家庭でのエネルギー消費量も多いから	アメリカ合衆国ではモータリゼーションが進んでおり、広大な国土を移動するために自動車が必要不可欠な生活基盤となっています。また、大型の住宅における冷暖房の使用など、1人あたりのエネルギー消費量自体が他国より多いことが、高い温室効果ガス排出量に直結しています。中国やインドなどの新興国と比較しても、この1人あたりの消費の多さは顕著な課題となっています。
問14	答え 3 シリコンバレー	サンフランシスコ周辺は、大学や研究機関が集中していることから高度な知識を持つ人材を確保しやすく、1970年代からコンピュータ関連の企業が次々と誕生しました。半導体の主原料である「シリコン」と、この地域の地形である「バレー（谷）」を組み合わせるとこの名で呼ばれるようになり、世界最大のハイテク産業の拠点となっています。